------6月7日------　　2021年

※ 今週のアウトルック（6/7～6/11）

先週は木曜日まではドル高気味に推移しましたが、金曜日の米国雇用統計の発表を受けてドル売りへと反転しました。
今週は、米国雇用統計の予想を下回る結果がどの程度波及するかが、
まずはポイントとなりそうですが、ドル高、円安の流れが大きく変わるところまでは
至らないやもしれません。

先週のドル円は、金曜日の予想を下回る米国雇用統計の結果を受けて、
109.5円付近まで下落してNY市場を終了しています。
今週は、この影響がどの程度まで広がるかがまずは注目されそうですが、
大きくトレンドが変わるまでには至らない可能性の方が強いように思います。

ドル円の予想レンジは108円から111円です。

ユーロ円は木曜日まで134円付近で推移していましたが、金曜日に米国雇用統計の
結果を受けて円高が進み、133円台前半までユーロ安が進みました。
今週はユーロドルが上昇基調を崩していないことなどから、ユーロ円でも円高は
それ程長続きしないかもしれません。

ユーロ円の予想レンジは132円から135円です。

ポンド円も米国雇用統計の結果の影響を受けて、やや下落していますが
今週は再び156円のレジスタンスにトライする可能性が高いように思います。

ポンド円の予想レンジは154円から160円です。

今週前半は、米国雇用統計の予想を下回る結果の影響がどこまで広がるかが、
まずは注目されそうですが、意外にもあまり広がらずに早期回復してしまう可能性も
考慮したほうが良いかもしれません。

＊免責事項＊
当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。